

七月よみとりおけいこ（低）①

なまえ（

ぎおんまつりが始まりましたね。

え？まだほこもたつてないし、コンチキチンのおはやし

もきこえないよ?とおもつた人もいるかもしませんね。

たしかに、きおんまつりといえは、四じょうとおりあたりに山やほこがたつて、たくさんの夜店がならんで・・・と

いつたイメージです。でも、じつは七月中ずっとときおんま

もとは千年いじょうまえのこと。ふじ山が大ばくはつし
たり、大じしんがおこつたり、たくさんのがんでんせん
びょうでしんだり、とたいへんだつたことがあります。そ
れで、かみさまに、よくないことがこれいじょうおこりま
せんようによおねがいしたのがはじまりです。

んじょがあふれると井戸水の中にはいつてしまいますね。でも、みんなは井戸水をのむしかなかつたので、すぐにおなかをこわして、たくさんの人人がしにました。そこで人々はとりあえずつゆの大雨をやませてほしい、とりゆうじんさまにおねがいしたのです。

むかしの人は雨をさらせたり止ませたりするのばかり
うじんさま（ドラゴンボールのシェンロンみたいなもの）
だと思っていました。それでりゅうじんさまの大こうぶつ
のうまをささげておねがいしました。

今はそんなことはしませんが、かわりにうまのふだをつけておちごさんがやさかじんじやにやつてきます。「ひまがたちご」というのです。

おねがいがききとどけられてぎおんまつりがおわるころにはまいとしつゆがあけますよ。

① 何の話でしよう？

まつり

㉙ おんまつのは可用ごおこなわれるのですか

()

תְּבִ�ָה

()

卷之三

⑥むかしの人は雨をだれがふらせると思つてい

、
○○○不意に仕事の思惑がいきり立つ

ますか？

() りゅうじんさまはトイレのかみせ

() りゅうじゅがね二ノロノホノホノ、

りゆうじんさまにお手がみをかきましょう。

